

2020市立池田病院緩和ケアチームにおけるPDCAサイクルの取り組み

問題点 1	依頼元の病棟スタッフとの情報共有や協働が不十分
問題点 2	適切な時期に介入依頼が行えていないことがある

目標 1	依頼元の病棟スタッフと患者さまの治療やケアのゴール設定や途中経過について共有する
計画 (Plan)	緩和ケアチーム介入中の患者さまについての病棟での多職種カンファレンスの回数を増やす (目標5件/年) リンクナースに緩和ケアチーム回診に参加してもらう (目標: リンクナース1人につき1回/年)
実施 (Do)	<ul style="list-style-type: none"> ① 治療やケアのゴール設定や途中経過についてカルテに記載し、依頼元の病棟スタッフと共有する ② 治療やケアのゴール設定や途中経過について回診時に確認を行い、多職種カンファレンスを促す ③ 緩和委員会を通してリンクナースに緩和ケアチーム回診に参加を企画
目標達成状況 ・理由 (Check)	達成: 病棟での多職種カンファレンス開催数: 20件 ほぼ達成: リンクナースの緩和ケアチーム回診参加は15名中14名。Covid-19の対応のため参加の調整がつかなかった。

目標 2	早期から専門的緩和ケアを受けられる体制を整備する
計画 (Plan)	緩和ケアチームへの依頼時期「診断から初期治療前」の割合を増加させる。目標値13% (2018年度10・8%)
実施 (Do)	<ul style="list-style-type: none"> ① 医療者、患者、家族に対して緩和ケアチームに関する広報を行う ② 入院サポートセンターと連携を図り、入院時からの拾い上げを強化する ③ 回診時に必要となりそうな患者について情報を共有する ④ 外来で介入の必要がある患者の拾い上げができる方法を検討する
目標達成状況 ・理由 (Check)	未達成: 約3%と大幅に減少している。 Covid-19の影響のため治療前の患者さまの入院自体が減少していたが、緩和ケアチーム介入件数は昨年度と変わっていない。 外来スタッフへの基本的緩和ケアが普及してきたことにより、診断から初期治療前での専門的緩和ケアが必要な患者さまが少なくなっている可能性は考えられる。

来年度への課題 来年度よりリンクナースが不在となるため、今後適切な時期に専門的緩和ケアが提供できるよう、まずは全職員対象への基本的緩和ケアの普及に力をいれる必要がある。